

四半期報告書

(第38期第3四半期)

自 平成21年11月1日

至 平成22年1月31日

株式会社ロック・フィールド

神戸市東灘区魚崎浜町15番地2

(E00482)

目 次

	頁
表 紙	
第一部 企業情報	
第1 企業の概況	
1 主要な経営指標等の推移	1
2 事業の内容	2
3 関係会社の状況	2
4 従業員の状況	2
第2 事業の状況	
1 生産、受注及び販売の状況	3
2 事業等のリスク	4
3 経営上の重要な契約等	5
4 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析	5
第3 設備の状況	7
第4 提出会社の状況	
1 株式等の状況	
(1) 株式の総数等	8
(2) 新株予約権等の状況	8
(3) ライツプランの内容	8
(4) 発行済株式総数、資本金等の推移	8
(5) 大株主の状況	8
(6) 議決権の状況	9
2 株価の推移	9
3 役員の状況	9
第5 経理の状況	10
1 四半期連結財務諸表	
(1) 四半期連結貸借対照表	11
(2) 四半期連結損益計算書	13
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	15
2 その他	22
第二部 提出会社の保証会社等の情報	23

[四半期レビュー報告書]

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成22年3月17日
【四半期会計期間】	第38期第3四半期（自平成21年11月1日至平成22年1月31日）
【会社名】	株式会社ロック・フィールド
【英訳名】	ROCK FIELD CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 岩田 弘三
【本店の所在の場所】	神戸市東灘区魚崎浜町15番地2
【電話番号】	（代表）（078）435-2800
【事務連絡者氏名】	経理グループマネージャー 伊澤 修
【最寄りの連絡場所】	神戸市東灘区魚崎浜町15番地2
【電話番号】	（代表）（078）435-2800
【事務連絡者氏名】	経理グループマネージャー 伊澤 修
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号） 株式会社大阪証券取引所 （大阪市中央区北浜1丁目8番16号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第37期 第3四半期連結 累計期間	第38期 第3四半期連結 累計期間	第37期 第3四半期連結 会計期間	第38期 第3四半期連結 会計期間	第37期
会計期間	自平成20年 5月1日 至平成21年 1月31日	自平成21年 5月1日 至平成22年 1月31日	自平成20年 11月1日 至平成21年 1月31日	自平成21年 11月1日 至平成22年 1月31日	自平成20年 5月1日 至平成21年 4月30日
売上高（百万円）	36,124	34,641	12,553	12,293	47,243
経常利益（百万円）	1,509	1,634	710	830	1,875
四半期（当期）純利益（百万円）	789	743	385	391	1,063
純資産額（百万円）	—	—	20,233	20,856	20,521
総資産額（百万円）	—	—	25,133	26,658	26,351
1株当たり純資産額（円）	—	—	1,523.46	1,570.40	1,545.17
1株当たり四半期（当期）純利益 金額（円）	59.42	55.98	29.01	29.52	80.11
潜在株式調整後1株当たり四半期 （当期）純利益金額（円）	—	—	—	—	—
自己資本比率（%）	—	—	80.5	78.2	77.9
営業活動による キャッシュ・フロー（百万円）	1,144	1,728	—	—	2,385
投資活動による キャッシュ・フロー（百万円）	△1,727	△694	—	—	△2,153
財務活動による キャッシュ・フロー（百万円）	△876	△1,044	—	—	△132
現金及び現金同等物の四半期末 （期末）残高（百万円）	—	—	4,591	6,145	6,156
従業員数（人）	—	—	1,295	1,340	1,397

（注）1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には消費税等を含んでおりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期（当期）純利益金額は、潜在株式が存在していないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第3四半期連結会計期間において、当社グループ（当社及び連結子会社1社）が営んでいる事業内容に重要な変更はありません。

3【関係会社の状況】

当第3四半期連結会計期間において、重要な関係会社の異動はありません。

4【従業員の状況】

(1) 連結会社の状況

平成22年1月31日現在

従業員数（人）	1,340（2,855）
---------	--------------

(注) 従業員数は就業人数であり、臨時雇用者数（パートタイマー、アルバイト）は当第3四半期連結会計期間の平均雇用人員（8時間換算）を（ ）内に外数で記載しております。

(2) 提出会社の状況

平成22年1月31日現在

従業員数（人）	1,339（2,855）
---------	--------------

(注) 従業員数は就業人数であり、臨時雇用者数（パートタイマー、アルバイト）は当第3四半期会計期間の平均雇用人員（8時間換算）を（ ）内に外数で記載しております。

第2【事業の状況】

1【生産、受注及び販売の状況】

(1) 生産実績

当第3四半期連結会計期間の生産実績を製品別に示すと、次のとおりであります。

なお、同一製品が複数業態で販売されるため、業態別の生産実績は記載しておりません。

製品別	当第3四半期連結会計期間 (自 平成21年11月1日 至 平成22年1月31日)	前年同四半期比 (%)
	金額 (百万円)	
サラダ	5,346	97.6
神戸コロッケ	1,100	94.7
フライ	2,441	102.0
デイリーそうざい	2,676	103.0
路面店そうざい	317	59.3
ベジテリア	574	96.0
合計	12,456	97.3

(注) 1. 金額は販売価格によっております。

2. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注状況

当社グループでは見込み生産を行っておりますので該当事項はありません。

(3) 販売実績

当第3四半期連結会計期間の販売実績を事業の業態別に示すと、次のとおりであります。

業態別		当第3四半期連結会計期間 (自 平成21年11月1日 至 平成22年1月31日)	前年同四半期比 (%)
		金額 (百万円)	
RF1	サラダ	5,174	98.3
	フライ	1,802	95.4
	その他そうざい	2,513	107.3
	小計	9,489	99.9
神戸コロッケ		1,064	96.8
いとはん・三日坊主		533	118.0
RF1 Asia・融合		284	97.3
そうざいや	そうざい	270	60.7
地球健康家族	弁当・米飯	129	71.6
	小計	400	63.9
ベジテリア		470	100.8
その他		50	42.3
合計		12,293	97.9

(注) 1. 前第3四半期連結会計期間及び当第3四半期連結会計期間における主な相手先別の販売実績及び当該販売実績に対する割合は次のとおりであります。

相手先	前第3四半期連結会計期間 (自 平成20年11月1日 至 平成21年1月31日)		当第3四半期連結会計期間 (自 平成21年11月1日 至 平成22年1月31日)	
	金額 (百万円)	割合 (%)	金額 (百万円)	割合 (%)
株高島屋	1,473	11.73	1,439	11.71

2. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

2【事業等のリスク】

当第3四半期連結会計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。

また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

4 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期報告書提出日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第3四半期連結会計期間におけるわが国経済は、政府による経済対策などにより景況感回復の兆しは見え始めたものの、設備投資や個人消費の改善には至らず、企業収益や雇用環境は厳しい状況のまま推移いたしました。

食品業界においては、緩やかなデフレ状況下において業種を超えた激しい低価格競争が起これ、雇用や所得環境の悪化による生活防衛意識の高まりと相俟って経営環境はますます厳しさを増しました。

このような状況のもと、当社グループは価格競争より食の安心と安全を第一義と捉え、価値訴求をテーマとして高品質で付加価値の高い商品とサービスをお客様に提供することに取り組んでまいりました。既存店売上が伸びない中、計画的購買による原材料の安定的な確保や生産性の向上・業務の効率化を継続的に行い、全社上げての改善活動に取り組むとともに経費の効率的な使用などにより利益の確保に努めました。

主なブランド別の概況は次のとおりであります。

「RF1」ブランドにおきましては、定番商品の品質向上に継続して取り組み、安心・安全を求めるお客様の信頼に応えるような新商品の開発、こだわり素材を使った商品の展開を行うなど、付加価値の高い商品の提供を行ってまいりました。また、お客様の多様なニーズに対応するため、商品ミックスなどを行ってまいりました。その結果、売上高は9,489百万円（前年同期比0.1%減）となりました。

「神戸コロッケ」ブランドにおきましては、平成元年の第1号店のオープンから20周年となる感謝の気持ちを込めた「20周年アニバーサリーコロッケ」やおつまみとして利用いただける「ミニコロッケ」を展開するなど、お客様に継続したご愛顧をいただけるような品揃えを行ってまいりました。その結果、売上高は1,064百万円（前年同期比3.2%減）となりました。

「ベジテリア」ブランドにおきましては、「緑の健康バランス30品目」、「雪りんご&にんじん」など野菜の素材とフルーツを組み合わせて飲みやすくしたジュースやスープを継続して提案した結果、売上高は、470百万円（前年同期比0.8%増）となりました。

この結果、当第3四半期連結会計期間における業績は、売上高は12,293百万円（前年同期比2.1%減）、営業利益825百万円（前年同期比16.4%増）、経常利益830百万円（前年同期比16.9%増）、四半期純利益は391百万円（前年同期比1.7%増）となりました。

(2) 財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間末における総資産については、前連結会計年度に比べて307百万円増加し、26,658百万円となりました。これは減価償却費等により有形固定資産が227百万円減少したものの、売掛金が651百万円増加したこと等によるものであります。

一方、負債においては、前連結会計年度末に比べて長期借入金（1年内返済予定長期借入金を含む）の約定返済により536百万円減少したこと、未払法人税等が142百万円減少したことにより負債合計は5,802百万円となりました。

純資産においては、前連結会計年度末に比べて334百万円増加し20,856百万円となりました。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べて0.3ポイント増加して78.2%、1株当たり純資産額は1,570円40銭となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、第2四半期連結会計期間末に比べて310百万円減少し、6,145百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得た資金は223百万円（前年同期比137百万円の減少）となりました。これは、主に税金等調整前四半期純利益661百万円、減価償却費371百万円、賞与引当金の減少額231百万円、売上債権の増加額418百万円、法人税等の支払額371百万円等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は229百万円（前年同期比184百万円の増加）となりました。これは、主に有形固定資産の取得による支出194百万円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は304百万円（前年同期比104百万円の減少）となりました。これは、主に長期借入金の約定返済122百万円、配当金の支払額159百万円等によるものであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結会計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

当第3四半期連結会計期間における当社グループの研究開発活動の金額は47百万円であります。なお、当第3四半期連結会計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【設備の状況】

(1) 主要な設備の状況

当第3四半期連結会計期間において、主要な設備に重要な異動はありません。

(2) 設備の新設、除却等の計画

当第3四半期連結会計期間において、新たに確定した重要な設備の新設、拡充、改修、除却、売却等の計画はありません。

第4【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

①【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	40,000,000
計	40,000,000

②【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末現在発行数(株) (平成22年1月31日)	提出日現在発行数(株) (平成22年3月17日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	13,394,374	13,394,374	東京証券取引所 大阪証券取引所 各市場第一部	単元株式数 100株
計	13,394,374	13,394,374	—	—

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数 増減数(株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金増 減額 (百万円)	資本準備金残 高(百万円)
平成21年11月1日～ 平成22年1月31日	—	13,394,374	—	5,544	—	5,861

(5)【大株主の状況】

大量保有報告書等の写しの送付等がなく、当第3四半期会計期間において、大株主の異動は把握しておりません。

(6) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成21年10月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

①【発行済株式】

平成22年1月31日現在

区分	株式数（株）	議決権の数（個）	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式（自己株式等）	—	—	—
議決権制限株式（その他）	—	—	—
完全議決権株式（自己株式等）	（自己保有株式） 普通株式 113,100	—	—
完全議決権株式（その他）	普通株式 13,270,100	132,701	—
単元未満株式	普通株式 11,174	—	—
発行済株式総数	13,394,374	—	—
総株主の議決権	—	132,701	—

（注）「完全議決権株式（その他）」欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式が、1,200株（議決権 12個）含まれております。

②【自己株式等】

平成22年1月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数（株）	他人名義所有株式数（株）	所有株式数の合計（株）	発行済株式総数に対する所有株式数の割合（%）
株式会社 ロック・フィールド	神戸市東灘区魚崎浜 町15番地2	113,100	—	113,100	0.84
計	—	113,100	—	113,100	0.84

2【株価の推移】

【当該四半期累計期間における月別最高・最低株価】

月別	平成21年 5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平成22年 1月
最高（円）	1,195	1,250	1,210	1,220	1,269	1,271	1,227	1,239	1,254
最低（円）	1,152	1,180	1,172	1,186	1,193	1,194	1,129	1,163	1,208

（注） 最高・最低株価は、東京証券取引所市場第一部におけるものであります。

3【役員状況】

前事業年度の有価証券報告書の提出後、当四半期報告書の提出日までにおいて、役員の変動はありません。

第5【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表規則」という。）に基づいて作成しております。

なお、前第3四半期連結会計期間（平成20年11月1日から平成21年1月31日まで）及び前第3四半期連結累計期間（平成20年5月1日から平成21年1月31日まで）は、改正前の四半期連結財務諸表規則に基づき、当第3四半期連結会計期間（平成21年11月1日から平成22年1月31日まで）及び当第3四半期連結累計期間（平成21年5月1日から平成22年1月31日まで）は、改正後の四半期連結財務諸表規則に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、前第3四半期連結会計期間（平成20年11月1日から平成21年1月31日まで）及び前第3四半期連結累計期間（平成20年5月1日から平成21年1月31日まで）に係る四半期連結財務諸表については監査法人トーマツによる四半期レビューを受け、また、当第3四半期連結会計期間（平成21年11月1日から平成22年1月31日まで）及び当第3四半期連結累計期間（平成21年5月1日から平成22年1月31日まで）に係る四半期連結財務諸表については有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

なお、監査法人トーマツは、監査法人の種類の変更により、平成21年7月1日をもって有限責任監査法人トーマツとなっております。

1 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年1月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,165	6,256
売掛金	3,876	3,225
製品	49	56
仕掛品	54	56
原材料及び貯蔵品	147	167
その他	547	550
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	10,839	10,310
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,664	8,987
機械装置及び運搬具（純額）	562	598
土地	3,003	3,003
建設仮勘定	3	2
その他（純額）	900	769
有形固定資産合計	* 13,134	* 13,361
無形固定資産		
投資その他の資産	213	245
投資有価証券	336	350
差入保証金	562	534
長期預金	1,000	900
繰延税金資産	162	108
その他	418	548
貸倒引当金	△8	△8
投資その他の資産合計	2,472	2,433
固定資産合計	15,819	16,040
資産合計	26,658	26,351

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年1月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年4月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,011	1,137
1年内返済予定の長期借入金	450	673
未払法人税等	249	392
賞与引当金	335	539
その他	2,635	1,732
流動負債合計	4,683	4,474
固定負債		
長期借入金	887	1,201
その他	231	152
固定負債合計	1,119	1,354
負債合計	5,802	5,829
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,544	5,544
資本剰余金	5,861	5,861
利益剰余金	9,637	9,345
自己株式	△208	△208
株主資本合計	20,834	20,542
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	22	△20
評価・換算差額等合計	22	△20
純資産合計	20,856	20,521
負債純資産合計	26,658	26,351

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年5月1日 至平成21年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年5月1日 至平成22年1月31日)
売上高	36,124	34,641
売上原価	15,927	14,927
売上総利益	20,196	19,713
販売費及び一般管理費	※1 18,703	※1 18,099
営業利益	1,493	1,613
営業外収益		
受取利息	2	4
受取配当金	5	3
保険配当金	7	9
その他	15	19
営業外収益合計	30	37
営業外費用		
支払利息	11	15
その他	3	0
営業外費用合計	14	16
経常利益	1,509	1,634
特別利益		
過年度損益修正益	—	※2 1
特別利益合計	—	1
特別損失		
固定資産除却損	28	82
減損損失	12	—
店舗閉鎖損失	—	※3 32
投資有価証券評価損	—	90
出資金評価損	—	93
特別損失合計	40	298
税金等調整前四半期純利益	1,469	1,337
法人税等	※4 679	※4 593
四半期純利益	789	743

【第3四半期連結会計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結会計期間 (自 平成20年11月1日 至 平成21年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自 平成21年11月1日 至 平成22年1月31日)
売上高	12,553	12,293
売上原価	5,498	5,238
売上総利益	7,055	7,054
販売費及び一般管理費	※1 6,345	※1 6,229
営業利益	709	825
営業外収益		
受取利息	0	1
受取配当金	2	1
受取保険金	—	3
その他	2	3
営業外収益合計	4	9
営業外費用		
支払利息	3	4
その他	1	0
営業外費用合計	4	5
経常利益	710	830
特別損失		
固定資産除却損	0	60
減損損失	12	—
店舗閉鎖損失	—	※2 10
投資有価証券評価損	—	75
出資金評価損	—	22
特別損失合計	12	168
税金等調整前四半期純利益	697	661
法人税等	※3 311	※3 269
四半期純利益	385	391

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年5月1日 至 平成21年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年5月1日 至 平成22年1月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,469	1,337
減価償却費	1,078	1,062
減損損失	12	—
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△231	△203
受取利息及び受取配当金	△7	△8
支払利息	11	15
固定資産除却損	28	82
店舗閉鎖損失	—	32
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	90
出資金評価損	—	93
売上債権の増減額 (△は増加)	△372	△651
たな卸資産の増減額 (△は増加)	10	29
仕入債務の増減額 (△は減少)	△194	△125
未払費用の増減額 (△は減少)	—	512
その他	256	191
小計	2,060	2,458
利息及び配当金の受取額	7	9
利息の支払額	△11	△15
法人税等の支払額	△911	△724
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,144	1,728
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△20	△120
定期預金の払戻による収入	—	100
有形固定資産の取得による支出	△1,465	△476
有形固定資産の売却による収入	20	1
無形固定資産の取得による支出	△55	△54
投資有価証券の取得による支出	△114	△6
長期前払費用の取得による支出	△100	△57
差入保証金の回収による収入	28	59
差入保証金の差入による支出	△22	△140
その他	1	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,727	△694

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年5月1日 至 平成21年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年5月1日 至 平成22年1月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	200	—
長期借入金の返済による支出	△525	△536
リース債務の返済による支出	△20	△56
自己株式の取得による支出	△0	△0
自己株式の売却による収入	0	0
配当金の支払額	△531	△451
財務活動によるキャッシュ・フロー	△876	△1,044
現金及び現金同等物に係る換算差額	△6	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,467	△10
現金及び現金同等物の期首残高	6,058	6,156
現金及び現金同等物の四半期末残高	※ 4,591	※ 6,145

【四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更】

該当事項はありません。

【表示方法の変更】

当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年5月1日 至 平成22年1月31日)
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書) 前第3四半期連結累計期間において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に含めて表示しておりました「未払費用の増減額(△は減少)」は重要性が増したため、当第3四半期連結累計期間では区分掲記することとしました。なお、前第3四半期連結累計期間の「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に含まれる「未払費用の増減額(△は減少)」は110百万円であります。

【簡便な会計処理】

該当事項はありません。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

該当事項はありません。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

当第3四半期連結会計期間末 (平成22年1月31日)	前連結会計年度末 (平成21年4月30日)
※ 有形固定資産の減価償却累計額は、11,941百万円であります。	※ 有形固定資産の減価償却累計額は、11,340百万円であります。

(四半期連結損益計算書関係)

前第3四半期連結累計期間 (自平成20年5月1日 至平成21年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年5月1日 至平成22年1月31日)																						
<p>※1. 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">支払手数料</td> <td style="text-align: right;">4,652百万円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">給料及び賞与</td> <td style="text-align: right;">6,674百万円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">賞与引当金繰入</td> <td style="text-align: right;">160百万円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;">—————</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;">—————</td> <td></td> </tr> </table> <p>※4. 「法人税、住民税及び事業税」と「法人税等調整額」は「法人税等」として一括して記載しております。</p>	支払手数料	4,652百万円	給料及び賞与	6,674百万円	賞与引当金繰入	160百万円	—————		—————		<p>※1. 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">支払手数料</td> <td style="text-align: right;">4,385百万円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">給料及び賞与</td> <td style="text-align: right;">6,639百万円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">賞与引当金繰入</td> <td style="text-align: right;">235百万円</td> </tr> </table> <p>※2. 過年度損益修正益は役員生命保険に対する過年度の積立配当金であります。</p> <p>※3. 店舗閉鎖損失は路面店不採算店舗退店に伴う損失であり、内訳は次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">減損損失</td> <td style="text-align: right;">22百万円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">工具器具及び備品除却損</td> <td style="text-align: right;">2百万円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">解体撤去等費用</td> <td style="text-align: right;">7百万円</td> </tr> </table> <p>※4. 「法人税、住民税及び事業税」と「法人税等調整額」は「法人税等」として一括して記載しております。</p>	支払手数料	4,385百万円	給料及び賞与	6,639百万円	賞与引当金繰入	235百万円	減損損失	22百万円	工具器具及び備品除却損	2百万円	解体撤去等費用	7百万円
支払手数料	4,652百万円																						
給料及び賞与	6,674百万円																						
賞与引当金繰入	160百万円																						
—————																							
—————																							
支払手数料	4,385百万円																						
給料及び賞与	6,639百万円																						
賞与引当金繰入	235百万円																						
減損損失	22百万円																						
工具器具及び備品除却損	2百万円																						
解体撤去等費用	7百万円																						

前第3四半期連結会計期間 (自平成20年11月1日 至平成21年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成21年11月1日 至平成22年1月31日)																		
<p>※1. 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">支払手数料</td> <td style="text-align: right;">1,616百万円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">給料及び賞与</td> <td style="text-align: right;">2,134百万円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">賞与引当金繰入</td> <td style="text-align: right;">160百万円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;">—————</td> <td></td> </tr> </table> <p>※3. 「法人税、住民税及び事業税」と「法人税等調整額」は「法人税等」として一括して記載しております。</p>	支払手数料	1,616百万円	給料及び賞与	2,134百万円	賞与引当金繰入	160百万円	—————		<p>※1. 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">支払手数料</td> <td style="text-align: right;">1,562百万円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">給料及び賞与</td> <td style="text-align: right;">2,138百万円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">賞与引当金繰入</td> <td style="text-align: right;">165百万円</td> </tr> </table> <p>※2. 店舗閉鎖損失は路面店不採算店舗退店に伴う損失であり、内訳は次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">工具器具及び備品除却損</td> <td style="text-align: right;">2百万円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">解体撤去等費用</td> <td style="text-align: right;">7百万円</td> </tr> </table> <p>※3. 「法人税、住民税及び事業税」と「法人税等調整額」は「法人税等」として一括して記載しております。</p>	支払手数料	1,562百万円	給料及び賞与	2,138百万円	賞与引当金繰入	165百万円	工具器具及び備品除却損	2百万円	解体撤去等費用	7百万円
支払手数料	1,616百万円																		
給料及び賞与	2,134百万円																		
賞与引当金繰入	160百万円																		
—————																			
支払手数料	1,562百万円																		
給料及び賞与	2,138百万円																		
賞与引当金繰入	165百万円																		
工具器具及び備品除却損	2百万円																		
解体撤去等費用	7百万円																		

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年5月1日 至 平成21年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年5月1日 至 平成22年1月31日)												
※ 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成21年1月31日現在)	※ 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成22年1月31日現在)												
<table border="0"> <tr> <td>現金及び預金勘定</td> <td style="text-align: right;">4,811百万円</td> </tr> <tr> <td>預入期間が3か月を超える定期預金</td> <td style="text-align: right;">△220百万円</td> </tr> <tr> <td>現金及び現金同等物</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black; border-bottom: 3px double black;">4,591百万円</td> </tr> </table>	現金及び預金勘定	4,811百万円	預入期間が3か月を超える定期預金	△220百万円	現金及び現金同等物	4,591百万円	<table border="0"> <tr> <td>現金及び預金勘定</td> <td style="text-align: right;">6,165百万円</td> </tr> <tr> <td>預入期間が3か月を超える定期預金</td> <td style="text-align: right;">△20百万円</td> </tr> <tr> <td>現金及び現金同等物</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black; border-bottom: 3px double black;">6,145百万円</td> </tr> </table>	現金及び預金勘定	6,165百万円	預入期間が3か月を超える定期預金	△20百万円	現金及び現金同等物	6,145百万円
現金及び預金勘定	4,811百万円												
預入期間が3か月を超える定期預金	△220百万円												
現金及び現金同等物	4,591百万円												
現金及び預金勘定	6,165百万円												
預入期間が3か月を超える定期預金	△20百万円												
現金及び現金同等物	6,145百万円												

(株主資本等関係)

当第3四半期連結会計期間末(平成22年1月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成21年5月1日至平成22年1月31日)

1. 発行済株式の種類及び総数

普通株式 13,394,374株

2. 自己株式の種類及び株式数

普通株式 113,159株

3. 配当に関する事項

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成21年7月29日 定時株主総会	普通株式	292	22	平成21年4月30日	平成21年7月30日	利益剰余金
平成21年12月15日 取締役会	普通株式	159	12	平成21年10月31日	平成22年1月18日	利益剰余金

(セグメント情報)

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結会計期間(自平成20年11月1日至平成21年1月31日)及び前第3四半期連結累計期間(自平成20年5月1日至平成21年1月31日)

当社グループは、同一セグメントに属する各種そうざいの製造・販売事業を行っており、当該セグメント以外に事業の種類がないため、該当事項はありません。

当第3四半期連結会計期間(自平成21年11月1日至平成22年1月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成21年5月1日至平成22年1月31日)

当社グループは、同一セグメントに属する各種そうざいの製造・販売事業を行っており、当該セグメント以外に事業の種類がないため、該当事項はありません。

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結会計期間(自平成20年11月1日至平成21年1月31日)及び前第3四半期連結累計期間(自平成20年5月1日至平成21年1月31日)

全セグメントの売上高の合計額に占める「本邦」の割合がいずれも90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

当第3四半期連結会計期間(自平成21年11月1日至平成22年1月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成21年5月1日至平成22年1月31日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

【海外売上高】

前第3四半期連結会計期間(自平成20年11月1日至平成21年1月31日)及び前第3四半期連結累計期間(自平成20年5月1日至平成21年1月31日)

海外売上高が連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

当第3四半期連結会計期間(自平成21年11月1日至平成22年1月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成21年5月1日至平成22年1月31日)

海外売上高がないため、該当事項はありません。

(有価証券関係)

有価証券の当四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動はありません。

(1株当たり情報)

1. 1株当たり純資産額

当第3四半期連結会計期間末 (平成22年1月31日)	前連結会計年度末 (平成21年4月30日)
1株当たり純資産額 1,570.40円	1株当たり純資産額 1,545.17円

2. 1株当たり四半期純利益金額等

前第3四半期連結累計期間 (自平成20年5月1日 至平成21年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年5月1日 至平成22年1月31日)
1株当たり四半期純利益金額 59.42円 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	1株当たり四半期純利益金額 55.98円 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(注) 1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年5月1日 至平成21年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年5月1日 至平成22年1月31日)
1株当たり四半期純利益金額		
四半期純利益(百万円)	789	743
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益(百万円)	789	743
期中平均株式数(千株)	13,281	13,281

前第3四半期連結会計期間 (自平成20年11月1日 至平成21年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成21年11月1日 至平成22年1月31日)
1株当たり四半期純利益金額 29.01円 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	1株当たり四半期純利益金額 29.52円 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(注) 1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結会計期間 (自平成20年11月1日 至平成21年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成21年11月1日 至平成22年1月31日)
1株当たり四半期純利益金額		
四半期純利益(百万円)	385	391
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益(百万円)	385	391
期中平均株式数(千株)	13,281	13,281

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

(リース取引関係)

該当事項はありません。

2 【その他】

平成21年12月15日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

(イ) 中間配当による配当金の総額……………159百万円

(ロ) 1株当たりの金額……………12円00銭

(ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日……………平成22年1月18日

(注) 平成21年10月31日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行っております。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成21年3月9日

株式会社ロック・フィールド

取締役会 御中

監査法人トーマツ

指定社員
業務執行社員 公認会計士 辻内 章 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 伊東 昌一 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ロック・フィールドの平成20年5月1日から平成21年4月30日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成20年11月1日から平成21年1月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成20年5月1日から平成21年1月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ロック・フィールド及び連結子会社の平成21年1月31日現在の財政状態、同日をもって終了する第3四半期連結会計期間及び第3四半期連結累計期間の経営成績並びに第3四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれておりません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成22年3月5日

株式会社ロック・フィールド

取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員

公認会計士

辻内 章

印

指定有限責任社員
業務執行社員

公認会計士

伊東 昌一

印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ロック・フィールドの平成21年5月1日から平成22年4月30日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成21年11月1日から平成22年1月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成21年5月1日から平成22年1月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ロック・フィールド及び連結子会社の平成22年1月31日現在の財政状態、同日をもって終了する第3四半期連結会計期間及び第3四半期連結累計期間の経営成績並びに第3四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれておりません。